

# 遠くて近いアフリカ ～舞台は世界～

実践場所	徳島県	城東高等学校	実践者	金澤 敦子
対 象	高校 2 年生	時間数	4 時間	
担当教科	英語	実践教科	ホームルーム	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカと日本のつながりについて知り、私たちの生活にも様々に関係していることを理解する。</li> <li>・これからの世界の開発について、どのようなことが望まれるのかを考える。</li> <li>・エチオピアで働く日本人の思いを知り、自らの生き方についても考える。</li> </ul>			
実践内容	回	プログラム	備 考	
	1～2	<p>【世界に目を向けよう、世界の中の日本・アフリカ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカについて知っている国を確認する。</li> <li>・アフリカと日本は、様々なつながりがあることに気づく。</li> </ul> <p>【エチオピアってどんな国？】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピアクイズを通して、気候・生活・文化等について知識を持ち、エチオピア人の生活について考える。</li> </ul> <p>(フォトランゲージ)</p>	<p>世界地図</p> <p>スライド</p>	
	3	<p>【エチオピアの開発事業について知ろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピアで、日本人が協力している開発事業について知り、現地の人々に対する意義や利点を考える。</li> </ul> <p>(フォトランゲージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』を読み、これからの開発事業について考える。</li> </ul>	<p>スライド</p> <p>蜂蜜</p> <p>『世界で一番貧しい大統領のスピーチ』 汐文社</p>	
	4	<p>【エチオピアで働く日本人の思いを知ろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピアで働く日本人について、その思いを知り、世界で働くためにどのようなことが必要か考える。</li> </ul>	<p>くさばよしみ(編集)</p>	
成 果	<p>アフリカは、私たちの生活に様々なところで関係していることや、日本人が活躍していることを知り、世界の国々に対してより興味・関心を持つようになった。また、世界が更に発展するためには、どのような方向で開発をすすめていくのかについても考えを深める一助となったのではないかと思う。</p>			
課 題	<p>深く話し合ったり、議論する時間があまり取れなかった。知識を得ることに留まらず、自分たちに何ができるかを更に継続的に考えることができるように働きかけたい。また先進国に目が向きがちな生徒が多いのだが、本当の意味でのグローバル化について考えたい。</p>			

## [ 授業実践の詳細 ]

### 1.2 時限目「遠くて近い国アフリカ・エチオピア」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① 白紙に世界地図を描いてみる。  
知っている国を書く。
- ② アフリカクイズをする。(グループ活動)
- ③ アフリカクイズに出てきた国名を地図に書き入れる。
- ④ アフリカの国々が私たちの生活に様々な関係していることを知る。
- ⑤ エチオピアクイズを通して、エチオピアについて、気候や人々の生活などについて知る。
- ⑥ エチオピアの現状や課題について考える。
- ⑦ 知ったことや考えたことを書き留める。

#### この時限のねらい

- 私たちの生活には、アフリカの国々と様々な結びつきがあることを知り、身近であることを知る。
- エチオピアについて知り、自分たちの生活を見つめ直してみる。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 実際に世界地図を描いてみると、案外描けない生徒も多く、イメージでは分かっているように思うことも、そうではないということを実感したようだった。
- ◇ アフリカクイズを通して、普段、私たちが食べているものや、使っているものの中に、アフリカから輸入されているものが多いことを実感した。
- ◇ エチオピアについて、その気候や人々の生活について知ることができた。日本と比べると不便なことも多いが、「不便＝不幸せ、便利＝幸せ」というわけではない。
- ◇ エチオピアの人々の生活について考えるとともに、自分たちの生活について改めて考える機会となった。

#### 3 使用した教材

<教材1> 世界地図

<教材2> アフリカクイズ

<教材3>

<教材4> パワーポイント(抜粋)



パワーポイント（抜粋）



＜教材5＞ エチオピア Yes・No クイズ

<p>① エチオピアは、アフリカにあり赤道の近くなので、8月はとても気温が高く暑い。</p> <p>YES → ②</p> <p>NO → ⑤</p>	<p>② エチオピアにはアムハラ族など約80の民族がいるので、民族紛争があちこちで起こっている。</p> <p>YES → ⑨</p> <p>NO → ⑩</p>
<p>③ エチオピアではイスラム教を信仰している人が一番多く、その割合は90%以上である。</p> <p>YES → ⑩</p> <p>NO → ⑧</p>	<p>④ 私が訪れたボンガの学校は、子供達は、午前9時から午後3時まで勉強する。</p> <p>YES → ⑧</p> <p>NO → ①</p>
<p>⑤ 首都アディスアベバでは、ヨーロッパ産の車が多く走っている。</p> <p>YES → ③</p> <p>NO → ⑦</p>	<p>⑥ エチオピアの首都アディスアベバでは小学校の卒業時のテストは、ほとんどの教科は英語で出題される。</p> <p>YES → ⑨</p> <p>NO → ⑦</p>
<p>⑦ エチオピアのGDPの伸び率は非常に高く、日本を上回っている。</p> <p>YES → ②</p> <p>NO → ⑥</p>	<p>⑧ エチオピアではコーヒーをよく飲み、日本の茶道のように、コーヒーで客をもてなす文化がある。</p> <p>YES → ⑥</p> <p>NO → ①</p>
<p>⑨ 首都から離れた田舎では、車は少なく、多くの人は自転車を使っているので、道は自転車がいっぱいである。</p> <p>YES → ⑤</p> <p>NO → ④</p>	<p>⑩ 地方で滞在したホテルでは、電気と水が止まっていた。</p> <p>YES → ③</p> <p>NO → ④</p>

＜教材6＞ フォトランゲージ(抜粋)



＜教材7＞ 瀬戸内海放送「世界のためにできること」 [www.ksb.co.jp/newsweb/series/world](http://www.ksb.co.jp/newsweb/series/world)

## 1 子どもの活動の流れ

- ① エチオピアで行われている開発事業について、パワーポイントを見る。
- ② それぞれの開発事業の意義や利点について考える。
- ③ 「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」を読む。
- ④ これからの世界の開発にとって大切なことはどのようなことかを考える。

## この時限のねらい

- 日本が協力して行われているエチオピアの開発事業について知る。
- これから“開発”を行う上で大切なことを考える。

## 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 教育・建設・農業・工場など、様々な分野で、様々な取り組みが行われており、それに日本人がどのように関わっているかを知った。
- ◇ 日本人の協力は、ただ物を造ったりお金を出資するだけでなく、現地の人々と関わりながら、方法を教えたり、生産性や生活自体がよりよくなるように努力していることを誇らしく思ったという意見もあった。
- ◇ 日本語の「改善」の精神がもとになって、「KAIZEN」プログラムが実施されていることに驚いた。自分たちの生活を改めて見直し、そのような精神を大切にしていこうという気持ちになった。
- ◇ 機能や便利さのみを追い求めるのではなく、環境にやさしく、持続可能な世界を作っていくことが自分たちを含む世界の人々の幸せにつながることを改めて考えた。

## 3 使用した教材

<教材8>パワーポイント(抜粋)

## エチオピアで見た日本の開発援助

- ★ 理数科教育改善センター
- ★ 生産性向上センター
- ★ アワッシュ橋 建設
- ★ コーヒー栽培
- ★ KAIZEN プログラム



## 1 理数科教育改善センター

エチオピア 科学技術の発展に資する理数科人材育成を強化していく方針



○現職教員研修制度の構築とモデル確立を支援

○初等の卒業試験の対象となる7, 8年生の学力評価のツールや教材の開発を通じて教育セクター関係者の能力強化

## 3 アワッシュ橋 建設



## 4 コーヒーフォレスト



## エチオピアの“5S”

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 分類する      | Sorting          |
| 順番にセットする  | Setting in order |
| きれいにする    | Shining          |
| 標準化・規格化する | Standardising    |
| 維持する      | Sustaining       |

<教材9> くさばよしみ(編集) 『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』汐文社 2014年

## 4 時限目「エチオピアで働く日本人」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 青年海外協力隊の方々を中心に、エチオピアで働く日本人がどのような仕事をしているか、またその人々の思いを知る。
- ② わかったことや考えたことを書き留める。
- ③ 世界で働くために必要なことはどんなことか考える。
- ④ 感想あるいはメッセージを書く。

### この時限のねらい

- 世界で働いている人々がどんな思いを持っているかを知る。
- 世界で活躍するために必要なことを考える。
- 私たちにできることを考える。

### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ エチオピアで働いている方が、様々な経歴を持っていることに驚いていた。
- ◇ それぞれの方が熱い思いを持って仕事をされていることに感動した。
- ◇ 自分たちは何がやりたいのか、何ができるのか等、自分を見つめるいい機会になった。

### 3 使用した教材

- <教材10> 青年海外協力隊の方々からのメッセージ
- <教材11> ワークシート

## ■ 全体を通して

### 1 授業の様子

- <写真1> エチオピア YES/NO クイズ
- <写真2> 蜂蜜を試食



- <写真3> エチオピアで働く人々のメッセージを読む



## 2 参考文献・資料

- 1) 瀬戸内海放送 「世界のためにできること」 [www.ksb.co.jp/newsweb/series/world](http://www.ksb.co.jp/newsweb/series/world)
- 2) 『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』 汐文社 くさばよしみ(編集) 2014年